

平成28年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市民会館	千葉市文化センター
条例上の設置目的	千葉市民会館設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり市民会館を設置する。	千葉市文化センター設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化センターを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	当該施設における実演芸術の鑑賞を通じて、文化に対する市民の興味を喚起し、さらに理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として、市民の文化芸術活動を支援していくこと。	長期的な視点で市民の文化芸術活動への支援や特色のある創造的な事業を行うとともに、市内の文化芸術に関する情報や人材が集まり、広く交流・発信していく場として、市の文化振興の拠点の役割を果たすこと。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	【文化芸術鑑賞の中心的役割】 ・創造性、企画性の高い実演芸術の公演の提供 ・特色のある実演芸術の公演の提供 ・利用者等のニーズに対応した実演芸術の公演の提供 ・文化芸術活動の大規模な発表の場 ・継続的な施設利用を可能とするための老朽化した施設の適切な維持管理	【市の文化振興の拠点】 ・長期継続的な取組みによる実演芸術の創造 ・市の文化を担う人材の育成 ・文化芸術の情報集積・発信、交流基地
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度の導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらおうという効果を見込んでいる。 市民会館では、突発的な修繕への柔軟な対応等老朽化した施設の適切な管理を、文化センターでは、市の文化振興の拠点施設としての役割の発揮をそれぞれ期待している。	
成果指標※	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 実演芸術の公演本数 ④ 施設稼働率(楽屋除く) ⑤ 大ホール稼働率 ⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	① 使用件数(楽屋除く) ② 文化振興の拠点施設としての使用件数(楽屋除く) ③ 施設稼働率(楽屋除く) ④ ホール稼働率
数値目標※	① 355,000人以上 ② 4,400件以上 ③ 24本以上(月2本以上目安) ④ 59%以上 ⑤ 平日59%以上、土日祝76%以上 ⑥ 年間0日	① 4,100件以上 ② 平成32年度10%増(平成27年度比) ③ 45%以上 ④ 平日44%以上、土日祝76%以上
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市文化振興財団
主たる事業所の所在地	千葉県千葉市中央区中央2-5-1
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	劇場法の要求を満たすべく、本市の文化振興の拠点施設を運営していくためには、長期継続的に市と一体となって文化施策を推進する役割を指定管理者が担う必要があるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 市民会館

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率
① 施設利用者数(楽屋除く)	355,000人以上	324,638人	91.4%
② 使用件数(楽屋除く)	4,400件以上	3,660件	83.2%
③ 実演芸術の公演本数	24本以上(月2本以上目安)	26本	108.3%
④ 施設稼働率(楽屋除く)	59%以上	50.3%	85.3%
⑤ 大ホール稼働率	平日60(59)%以上 土日祝78(76)%以上	平日51.8% 土日祝71.1%	平日86.3% 土日祝91.2%
⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	年間0日	0日	100%

イ 文化センター

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率
① 使用件数(楽屋除く)	4,100件以上	3,628人	88.5%
② 文化振興の拠点施設としての使用件数(楽屋除く)	平成32年度10%増(平成27年度比)	27年度983件 28年度1,025件(4.3%増)	104.3%
③ 施設稼働率(楽屋除く)	45%以上	40.9%	90.9%
④ ホール稼働率	平日44%以上 土日祝76%以上	平日46.4% 土日祝72.1%	平日105.5% 土日祝94.9%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H28年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	372,288	358,216	実績－計画 0	
	計画	372,288	354,884	計画－提案 △ 1,556	職員給与の見直し
	提案	373,844	345,159		
利用料金収入	実績	137,323	112,869	実績－計画 △ 6,258	施設利用の収入不足
	計画	143,581	168,800	計画－提案 0	
	提案	143,581	164,112		
その他収入	実績	13,246	18,949	実績－計画 △ 11,477	企画提案・自主事業収入の不足
	計画	24,723	0	計画－提案 △ 4,205	提案時からの事業内容見直し
	提案	28,928	0		
合計	実績	522,857	490,034	実績－計画 △ 17,735	
	計画	540,592	523,684	計画－提案 △ 5,761	
	提案	546,353	509,271		

イ 支出

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	266,582	214,549	実績-計画 △ 10,310	職員給与の見直し
	計画	276,892	246,080	計画-提案 △ 1,556	職員給与の見直し
	提案	278,448	245,239		
事務費	実績	76,266	83,371	実績-計画 △ 6,229	光熱水費の減少
	計画	82,495	89,412	計画-提案 0	
	提案	82,495	80,221		
管理費	実績	13,876	180,131	実績-計画 △ 1,058	仕様の見直しと修繕件数の減
	計画	14,934	188,192	計画-提案 0	
	提案	14,934	182,970		
委託費	実績	123,458	0	実績-計画 △ 5,774	仕様の見直しと入札結果による
	計画	129,232	0	計画-提案 0	
	提案	129,232	0		
その他事業費	実績	25,075	0	実績-計画 △ 4,237	事業内容変更
	計画	29,312	0	計画-提案 △ 3,424	提案時からの事業内容見直し
	提案	32,736	0		
本社費・共通費	実績	7,916	0	実績-計画 △ 592	仕様の見直しと入札の結果
	計画	8,508	0	計画-提案 0	
	提案	8,508	0		
合計	実績	513,173	478,051	実績-計画 △ 28,200	
	計画	541,373	523,684	計画-提案 △ 4,980	
	提案	546,353	508,430		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

※28年度と27年度では指定管理者が異なるため、費目の内訳も一部異なる。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

【提案・計画】

(市民会館) 11,656千円×33%=3,846千円 (文化センター) 11,656千円×40%=4,662千円

※算定根拠

平成28年度経常収益積算額に占める指定管理料及び利用料金等の合計金額の割合で按分した金額を算定根拠とした。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度
自主事業収入	実績 9,149	24,370
その他収入	実績 0	
合計	実績 9,149	24,370

イ 支出

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度
人件費	実績 4,723	
事務費	実績 4,091	
管理費	実績 0	
委託費	実績 0	
使用料	実績 215	
事業費	実績 0	30,994
利用料金	実績 0	
その他事業費	実績 0	
本社費・共通費	実績 0	
合計	実績 9,029	30,994

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H28年度	【参考】H27年度
必須業務	収入合計	522,857	490,034
	支出合計	513,173	478,051
	収支	9,684	11,983
自主事業	収入合計	9,149	24,370
	支出合計	9,029	30,994
	収支	120	△6,624
総収入		532,006	514,404
総支出		522,202	509,045
収支		9,804	5,359
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

ア 市民会館

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数 (楽屋除く)	C	
使用件数 (楽屋除く)	D	
実演芸術の公演本数	B	
施設稼働率 (楽屋除く)	D	
大ホール稼働率	C	
予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	C	

イ 文化センター

評価項目	市の評価	特記事項
使用件数 (楽屋除く)	C	
文化振興の拠点施設としての使用件数 (楽屋除く)	C	
施設稼働率 (楽屋除く)	C	
ホール稼働率	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費削減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	市民の平等利用の確保	C	C	
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力	(1) 人的組織体制の充実			
	管理運営の執行体制	C	C	
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務			
	施設の保守管理	C	C	
設備・備品の管理・清掃・警備等				
3 施設の効用の発揮	(1) 幅広い施設利用の確保			
	開館時間・休館日	C	C	
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実			
	利用者への支援	C	C	
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施			
	施設の事業の効果的な実施	C	B	アーティストへ活動の場を提供したり、文化活動を担う人材の育成に努めたほか、共催事業を年10本以上実施する等文化芸術振興に寄与した。
自主事業の効果的な実施				
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮				

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用におけるアンケート調査、イベントにおける顧客満足度調査
	回答者数	市民会館 延べ457件、文化センター 延べ180件
	質問項目	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照。
結果	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照。	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
市民会館の各会議室の空調が個別にできない。	全施設の空調は中央管制室で行っているため、内線電話等による事務所への連絡で調整依頼していただくよう利用者に案内している。
文化センター アートホールは、収容人数が多いわりにトイレの数が少ない。(特に女性用)また、トイレをウォシュレットに改造をお願いしたい。	早急なトイレの増設等は困難であることを説明し、当面トイレが混み合う場合には、ロビー内のトイレ以外(3階通路、4階通路等)をご利用いただくよう「案内」をお願いする旨を文書で回答した。 合わせて、管理者としてロビー以外のトイレご利用案内文を作成し、利用者へ周知した。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	<p>市民会館 施設利用者数、施設稼働率、大ホール(平日)稼働率、大ホール稼働率(土日祝)について目標に達成することができなかったが、特に12月から2月の3ヶ月において、過去3ヵ年の工事予定で貸出休止を設けていた期間の落ち込みが著しかった。その他の期間については、目標値に達していない月もあるが、概ね目標を達成できた。</p> <p>文化センター 施設稼働率については目標値に達しなかった項目もあるが、通年開館や施設利用料の割引などを実施し、利用の促進に努めた。</p>
------	---	----	---

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	<p>概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>年末年始以外の通年開館を行い、市民のニーズに最大限配慮しているほか、市民会館については、開館当初からの設備について重点的に確認するようにしているなど、老朽化に注意を払った対応をしており、評価できる。</p> <p>数値目標は9割程度達成しているものがほとんどであるが、市民会館の使用件数や施設稼働率については達成率が85%弱にとどまっている。離れた利用者の呼び戻しを図るとともに、好立地を生かした新規利用者の開拓にも力を入れ、目標達成率向上のため更なる創意工夫を図られたい。</p>
------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア 市の作成した年度評価案の妥当性について 市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。</p> <p>イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について (ア) アーティストバンクなどにより、アーティストの活動の場を充実させた点は、非常に評価できる。 (イ) アンケートの対象者について、イベント等で来場された人だけでなく、施設を借りてイベントを主催する人向けにも実施するようにされた。 (ウ) 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、倒産・撤退のリスクはないと判断される。</p>
--